

NEW CROWN 授業実践事例

BOOK 3 LET'S READ 2 授業例①

H.S. 先生

指導計画表

(全4時間)

時間	学習内容・主な活動
1	■ プレ活動 ・ 第1次世界大戦について ・ 知識の確認・導入 ・ 新出語句の導入 ・ 通し読み ・ 概要の把握
2	■ In-Reading ・ pp.100-101 の内容理解
3	■ In-Reading ・ pp.102-103 の内容理解
4	■ Post-Reading ・ Read and Think

実践例

1. 題材について

本題材は、第一次世界大戦中、イギリス軍とドイツ軍の戦闘のさなか、クリスマスの日に起こった心温まるエピソードを記録した話である。

第2次世界大戦から70年近く経過した現在、生徒にとっては「戦争」が現実離れしたアニメの世界、またはいつでもリセット可能なバーチャルゲームのように感じられるのではないだろうか。中東では現在も戦闘が繰り広げられ、肉親を殺されたり、傷ついた子供などが報道されているが、日本の子ども達にはどこか対岸の火事のように思われているようだ。義務教育最終学年のReading集大成として、既習の文法事項を駆使し、今一度「戦争と平和」についてグローバルな視野で考えることのできる教材であると思われる。

2. 本題材を使用しての活動のねらい

- (1) まとまった英文を読んで、大切な情報を読みとる。
- (2) 戦争と人間との関係に関心を持ち、考えることができる。

<誤答分析から>

本校がある地域では公立の小中学校において過去10年以上に渡り、「基礎・基本定着状況調査」を行い、児童生徒の学力を分析している。平成26年度の調査では、4領域の中で「読むこと」は通過率73.9%とおおむね学力が定着していると考えられる。しかし個別の設問を分析すると、「情報を基にした概要の理解」については通過率63.5%、「中心となる事柄の把握」については46.5%と大切な部分を捉えて的確に読み取ることには課題があると考えられる。

<指導上の課題>

- (1) 中心となる内容を読み取るために、5W1Hを確認させる指導が不十分であること。
- (2) 正しく英文を読み取るための文構造や語法の指導が不十分であること。

対策としては、基本的な語彙や文構造は、ウォームアップ時に、繰り返し継続して練習する機会を設け、定着を図る。また、5W1Hを確認する前に文中の動詞に着目させ、「何が起こったのか」を理解させる指導を行うこととした。

3. 指導案作成にあたって

昨年度の本校の研究テーマは「基礎的・基本的学力が定着し、意欲的に学ぶ生徒の育成」～学びのスタイルの確立につながる授業づくり～であった。従って、学力向上を目指すには①「学ぼうとする意欲」と②「学び方を身につける」ことが自転車の両輪のごとく必要であるという考えに基づき、学習過程の中に、学びの意欲に関わる活動と学びのスタイルに関わる活動を明記した。

(注)

- *学びの意欲…学習することに興味・関心を持ち、楽しみながら学習活動に取り組むこと、またはその学習を授業時間並びに家庭において継続・探究しようとする心情や態度。
- *学びのスタイル…学習内容を理解し、進めていくための様々な方法。生徒が主体的に学習を進めていくための方法を身につけさせる3種類の活動。

学びのスタイル1: 既習事項と新しく学習する内容とを関連付けて、考えたり深化させる。
 学びのスタイル2: 学習内容を振り返り、習得したことや課題に気づき、次時につなげる。
 学びのスタイル3: ドリルや反復練習によって知識や技能を定着させる。

これらの活動を1時間の学習展開の中に1つ～3つ位置づけることが有効であると考え、指導案を作成する。また、生徒指導三機能も学習過程の中に位置づけて学習意欲を高めていきたい。

生徒指導三機能

- A 生徒に自己存在感を与える活動内容
- B 共感的な人間関係を育成する活動内容
- C 自己決定の場を与える活動内容

4. 指導過程（全4時間）

次	学習内容（時数）	評 価					
		関	表	理	知	評 価 規 準	評価方法
一	○新出語句の確認 概要の把握	○		○		・ 第一次世界大戦について、関心を持って取り組んでいる。 ・ まとまった英文を読んで、概要を読み取ることができる。	ワークシート
二	○本文の内容理解 (pp.100-101)			○		・ まとまった英文を読んで、大切な情報を読み取ることができる。	ワークシート
三	○本文の内容理解 (pp.102-103)			○		・ まとまった英文を読んで、大切な情報を読み取ることができる。	ワークシート
四	○単元のまとめ		○	○		・ まとまった英文を読んで、大切な情報を読み取ることができる。 ・ 文と文のつながりに注意して、要約文を書くことができる。	後日テスト

5. 学習展開

* 「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て

次	学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
一	<p>1 あいさつ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">言語活動（聞くこと）</div> <p>2 Warm-up ・ 第一次世界大戦について説明を聞き、内容に関心を持つ。 ・ 教師による Oral Introduction を聞く。</p> <p>3 本時標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">5W1H に注意して、できごとの大まかな内容をつかむことができる。</div> <p>4 新出語句の確認</p>	<p>・ ピクチャーカードを使い、内容に関心を持たせる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 指導の工夫① 基本的な語彙や文構造を使い、既習事項を思い出させる。 </div> <p>・ ワードカードを配付し、意味と発音を確認・練習させる。（ペア学習） 【B：共感的人間関係】</p>	<p>関心を持って話を聞いている。 【関】</p> <div style="border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 10px auto; text-align: center;"> 学びの意欲 </div>	<p>行動観察</p>

指導の工夫②
短時間で長文を読み取ることができるよう、和訳付きの単語シートで発音練習させる。

言語活動（読むこと）

5 通し読み

- ・本文を通して読み、「誰が、いつ、何を、どうした」つかませる。
- ・人物、時間、動作を特定するヒントになる語句をしっかりと読み取るように促す。
- ＊読み取りの手がかりとなるように、事前に読み取りのポイントを示す。
- ・ワークシートを配付し、TFクイズに答えを記入させる。
- 【C：自己決定】
- ＊TFクイズに解答を書き込めていない生徒には、机間指導の際にアドバイスする。（ヒントカード）

まとまった文を読んで、概要を読み取ることができる。【理】

ワークシート

6 TFクイズによる内容の確認を行う。
個人→グループ

- ①グループで教え合い、確認する。（チェック）【B：共感的人間関係】
- ②理由もつけながらクイズの答えを発表する代表者を決める。
- ・積極的に発言するよう促す。
- 【A：自己存在感】

ポイント

- ①クリスマスツリーを飾ったのは？
- ②最初に「クリスマスおめでとう」と言ったのは？
- ③戦場で戦闘以外にどんなことがあった？
- ④その次の日にはどうなったか？
- ⑤筆者はこの思い出をどう思っているか？

7 授業のまとめ

- ・本時の学習内容について確認する。
- ・本時の目標についてどうであったか振り返る。
- ・家庭学習の内容と次時の学習内容を確認する。

- ・今日学習したことを、自分の言葉でまとめる。
- 【家庭学習】
- ・家庭学習ノートに、本時に心に残った文を何回も書き、復習することを指示する。

学びのスタイル2
学習内容を振り返り、習得したことを確認する活動。

学びのスタイル3
練習によって知識を定着させる活動。

8 あいさつ

<p>二</p>	<p>1 あいさつ</p> <p>2 Warm-up&Review 前時で把握した内容の確認。</p> <p>3 本時の目標を確認する。</p>	<p>・前時のワークシートを活用し、要点を押さえる。</p>	
<p>pp.100-101 において、ドイツ軍とイギリス軍の行動を読み取ることができる。</p>			
<p>4 新出語句の確認</p> <div data-bbox="185 511 521 685" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>指導の工夫① 短時間で長文を読み取ることができるよう、和訳付きの単語シートで発音練習させる。</p> </div> <div data-bbox="205 763 521 811" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>言語活動（読むこと）</p> </div>	<p>・ワードカードを使用し、意味と発音を確認・練習させる。(ペア学習) 【B：共感的人間関係】</p>	<div data-bbox="823 608 1234 801" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>学びのスタイル1 既習事項と関連づけて考える活動。</p> </div>	
<p>5 pp.100-101 の内容理解 個人→グループ</p>	<p>・空所補充ワークシートを配付し、特に動詞部分を中心に内容を把握させる。 *読み取りの手がかりとなるように、<u>動詞の部分に下線を引かせ</u>、意味を確認させる。</p>	<p>まとまった文を読んで、大切な情報を読み取ることができる。 【理】</p> <p style="text-align: right;">ワークシート</p>	
<p>6 Q&A による内容の確認を行う。 個人→グループ</p>	<p>①グループで教え合い、確認する。(チェック)【B：共感的人間関係】 ②理由もつけながら答えを発表する代表者を決める。 ・積極的に発言するよう促す。 【A：自己存在感】</p>	<div data-bbox="891 1159 1317 1352" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>学びのスタイル2 学習内容を振り返り、習得したことを確認する活動。</p> </div>	
<p>7 授業のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容について確認する。 ・本時の目標についてどうであったか振り返る。 ・家庭学習の内容と次時の学習内容を確認する。 	<p>・今日学習したことを、自分の言葉でまとめる。 【家庭学習】 ・家庭学習ノートに、本時のワークシートで空所になっていた動詞を何回も書き、復習することを指示する。</p>		
<p>8 あいさつ</p>		<div data-bbox="823 1593 1303 1767" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>学びのスタイル3 練習によって知識を定着させる活動。</p> </div>	

<p>三</p>	<p>1 あいさつ</p> <p>2 Warm-up&Review 前時で把握した内容の確認。</p> <p>3 本時の目標を確認する。</p>	<p>・前時のワークシートを活用し、要点を押さえる。</p>	
<p>pp.102-103 において、登場人物の行動を読み取ることができる。</p>			
	<p>4 新出語句の確認</p> <div data-bbox="171 531 528 676" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指導の工夫① 短時間で長文を読み取ることができるよう、和訳付きの単語シートで発音練習させる。</p> </div> <div data-bbox="198 743 514 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>言語活動（読むこと）</p> </div> <p>5 p.102・103の内容理解 個人→グループ</p> <div data-bbox="171 898 528 1052" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指導の工夫② 基本的な文構造を確認し、既習事項を思い出させ、解答への手助けをする。</p> </div> <p>6 Q & Aによる内容の確認を行う。 個人→グループ</p> <p>7 授業のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容について確認する。 ・本時の目標についてどうであったか振り返る。 ・家庭学習の内容と次時の学習内容を確認する。 <p>8 あいさつ</p>	<p>・ワードカードを使用し、意味と発音を確認・練習させる。 (ペア学習)【B：共感的人間関係】</p> <p>・空所補充ワークシートを配付し、特に動詞と形容詞を中心に内容を把握させる。 *読み取りの手がかりとなるように、<u>動詞と形容詞の部分に下線を引かせ</u>、意味を確認させる。</p> <p>①グループで教え合い、確認する。 (チェック)【B：共感的人間関係】</p> <p>②理由もつけながら答えを発表する代表者を決める。 ・積極的に発言するよう促す。 【A：自己存在感】</p> <p>・今日学習したことを、自分の言葉でまとめる。</p> <p>【家庭学習】</p> <p>・家庭学習ノートに、本時のワークシートで空所になっていた動詞・形容詞を何回も書き、復習することを指示する。</p>	<div data-bbox="891 618 1310 801" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>学びのスタイル1 既習事項と関連づけて考える活動。</p> </div> <p>まとまった文を読んで、大切な情報を読み取ることができる。 【理】</p> <div data-bbox="891 1323 1269 1535" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>学びのスタイル2 学習内容を振り返り、習得したことを確認する活動。</p> </div> <div data-bbox="891 1564 1282 1748" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>学びのスタイル3 練習によって知識を定着させる活動。</p> </div> <p>ワークシート</p>

<p>四</p>	<p>1 あいさつ</p> <p>2 Warm-up&Review 前時で把握した内容の確認。</p> <p>3 本時の目標を確認する。</p>	<p>・前時のワークシートを活用し、要点を押さえる。</p>	
<p>pp.100-103の全体を読み返し、ストーリーの要点をまとめることができる。</p>			
	<p>4 新出語句の確認</p> <div data-bbox="157 492 514 647" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指導の工夫① 内容の読み取りが深まるよう、和訳付きの単語シートで発音練習させる。</p> </div>	<p>・ワードカードを使用し、意味と発音を確認・練習させる。 (ペア学習)【B：共感的人間関係】</p>	<div data-bbox="864 550 1255 724" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>学びのスタイル1 既習事項と関連づけて考える活動。</p> </div>
<p>言語活動（読むこと・書くこと）</p>			
	<p>5 全体の内容理解 通し読み 個人→グループ</p> <div data-bbox="157 898 514 1014" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指導の工夫② 既習事項を思い出させ、解答への手助けをする。</p> </div>	<p>・空所補充要約文のワークシートを付し、特に5W1Hを中心に内容を把握させる。 *読み取りの手がかりとなるように、<u>誰の行動か</u>を確認させる。</p>	<p>まとまった文を読んで、大切な情報を読み取ることができる。 【理】</p> <p>ワークシート</p>
	<p>6 Q & Aによる内容の確認を行う。 個人→グループ</p>	<p>①グループで教え合い、確認する。 (チェック)【B：共感的人間関係】</p> <p>②理由もつけながら答えを発表する代表者を決める。 ・積極的に発言するよう促す。 【A：自己存在感】</p> <p>・最後の5行を中心に考えさせる。 ・グループで教え合い、確認する。 (チェック)【B：共感的人間関係】</p>	<div data-bbox="939 1168 1310 1381" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>学びのスタイル2 学習内容を振り返り、習得したことを確認する活動。</p> </div>
	<p>7 この話を通して筆者が伝えたかった思いとは何かを話し合う。</p> <p>8 授業のまとめ ・本時の学習内容について確認する。</p>	<p>・今日学習したことを、自分の言葉でまとめる。</p>	<div data-bbox="912 1535 1337 1748" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>学びのスタイル3 練習によって知識を定着させる活動。</p> </div>

	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標についてどうであったか振り返る。 ・家庭学習の内容と次時の学習内容を確認する。 <p>9 あいさつ</p>	<p>【家庭学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習ノートに、要約文を何回も書き、復習することを指示する。 		
--	--	--	--	--

6. 授業を振り返って

高校入試を控えた中学3年生であれば、400 words 程度のまとまった文を読むことには慣れてほしい。しかし、苦手意識のある生徒にとっては至難の業である。長文と聞いただけでやる気を失い、100年前の出来事と聞き、関心を失う。

まずは興味を持たせることから授業は始まる。ピクチャーカードや映画の話を通して徐々に気持ちを高めさせた。本題材では、特に主語と動詞に注目させ、「誰がいつどこで何をしたのか」を文中から読み取ることで「何が起こっていたのか」を理解させることに力点を置いた。動詞を見つけることは slow learners にとってはゲーム感覚で取り組み、「何をしたか、何があったのか」について理解を深めさせることができた。しかし筆者の心情を読み取ることは、第二言語の活用以前の母国語の能力も必要であり、難しいものがあった。国語科との連携の必要性も感じている。

今後も、異文化の特徴や良さ、新しい価値観を身につけさせるために、まとまりのある良い題材を定期的に読む機会を増やし、「情報を読み取る力」を育てていきたい。